

第15回 宮津まちづくり会議 報告

日時：平成30年1月23日（水）10：00～11：40

場所：宮津商工会議所 大会議室

1 開会挨拶〔武田会長〕

2 報告事項

(1) パイロット事業施設等の進捗状況について（報告：ハマカゼプロジェクト(株)坂本氏）

【質疑応答】

- ・アンケートはQRコードを利用して調査しているが、利用しにくい高齢者の回答率が低いのではないか。その分の補正はしているのか？
→高齢者への対策は特にしていないが、アンケート結果の年齢シェアと店で感じているものと差はないように感じる。
- ・メニューの更新はどのくらいの頻度でされるのか？旬のものを取り入れて季節感を出すことで、地元客もリピーターになる。
- ・店の回転数が最大の際、売り上げはいくらになるか？
→これまで8月、10月に更新。その後、大幅には変えていないが、本日のおすすめ等を出している。次は、3月か4月に変える予定。
→H30.1.2の売上が一番高かったが、回転数は5～6回転であった。
- ・外国人の利用はあるか？外国語が話せるスタッフがいるのか？
→夏から秋にかけては夜に5組程度利用があった。片言の英語と外国人がスマートフォンの翻訳アプリを利用して注文するのであまり困らない。
- ・客単価はどうか？
→昼は1,000円程度。夜は2,500円程度。夜はもう少し上げていきたい。
→ランチは地元客・観光客、夜は地元客・ファミリーが多い。予約客は、職場のグループがほとんど。
- ・道の駅で車中泊をしている人があるが、食事の利用もあるのか？
→週末の夜に2組ほど利用がある。

(2) 道の駅波及効果に関する調査結果について（資料1／説明：事務局）

【質疑応答】

- ・観光客や外国人が興味のあるような店づくりにしていけないといけない。この機会に、観光客にアピールするような商品づくりを考えていくべき。

- ・浜町ができたからではなく、個々の努力で魅力づくりをしてほしい。会議所も支援を頑張ってもらいたい。

(3) 浜町周辺エリアの賑わい創出について (資料2/説明:事務局)

→特段意見なし

3 その他

(事務局)

- ・海の京都の台所冬の宮津満腹際～日本三景かき食べ比べ～の開催について

(宮津市)

- ・島崎公園の再整備について

(WILLER TRAINS (株))

- ・丹後くろまつ号こだわりの味わい旅について
- ・東京⇄宮津間高速バスについて
- ・丹鉄アテンダントショップ PINO 開業について

4 顧問から (今井顧問)

- ・おさかなキッチンみやづが開業し、多くの方にお越しいただいている。課題は改善し、さらなる集客向上に努めてほしい。
- ・H29.11 ミップル内に図書館及びにっこりあができ、浜町の往来数が増加したと実感している。
- ・今後は、その方たちを街中へ回遊させる仕掛けづくりが必要であるが、そもそも街中自体の宣伝ができていない。
- ・浜町エリアに来られた観光客は、ぜひパーク&クルーズ(汽船)や上限200円バスを利用して天橋立へ行ったり、宮津市民65歳以上の方が利用できる丹鉄上限200円レールなどを利用して、小旅行を楽しんでいる団体もおられるが、そのような公共交通施策があまり認知されていないのでさらなる情報発信が必要。まちづくりをしていくためには公共交通は欠かせない。
- ・道の駅は、ミップルや島崎公園も含めて一帯のエリアで考えてほしい。浜町エリアの再開発で生まれた道の駅。
- ・現状、市民の利用が全体の4割。地域のための道の駅であるので、市民利用をもっと増やす努力が必要。

5 閉会挨拶 [戸田副会長]

以上